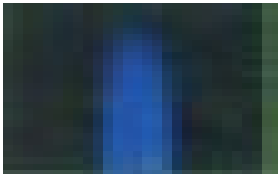
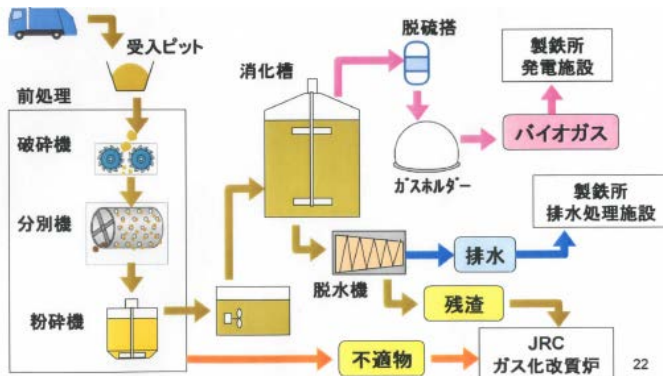


7.4 ジャパン・リサイクル株式会社

7.4.1 事業者情報

名 称	ジャパン・リサイクル株式会社		
本社住所	〒260－0835	千葉県千葉市中央区川崎町 1 番地	
資本金、出資金	1,200,000 千円		
従業員数	210 人		
設立年月日	平成 10 年		
URL	http://www.japan-recycle.co.jp		
事業概要	1. 廃棄物処理業、2. 容器包装リサイクル法プラスチック再商品化事業、3. 食品廃棄物のリサイクル事業（バイオガス化）、4. 廃棄物処理に伴う精製合成ガスの製造・販売、5. 廃棄物処理に伴うスラグ等副産物の販売、6. 廃棄物処理装置・設備の運転、保守管理		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	総務部	
	担当者名	草場孝志	
	連絡先	電話番号	043-262-4716
		FAX	043-262-4786
		E メールアドレス	kusaba@japan-recycle.co.jp

7.4.2 技術情報

キーワード	メタン発酵			
技術名称	ピガダン方式バイオガスシステム			
技術の分類	メタン発酵（バイオガス化）			
目的・用途	廃棄物の処理、及びリサイクル			
特長	ガス化溶融炉との組み合わせ（カスケード処理）により、①残さを資源化、②埋立処分が不要			
設備、製品等の写真、イメージ	 燃料ガス			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	動物性残さ	受入条件、形状	受入禁止物； ①ガラス・陶器類、 ②金属類、 ③割り箸・竹串類、 ④粘着性塊状物、 ⑤薬物・薬品、 ⑥その他メタン発酵を阻害するもの
	産廃	汚泥	受入条件、形状	
	産廃	廃油	受入条件、形状	
	産廃	廃酸	受入条件、形状	
	一廃	その他（生ごみ、厨芥類）	受入条件、形状	
供給資源・製品	燃料ガス （メタンを主成分とするガス）		形状	供給先限定
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	①廃棄物の最終処分場への埋立処理が不要	

7.4.3 実績情報

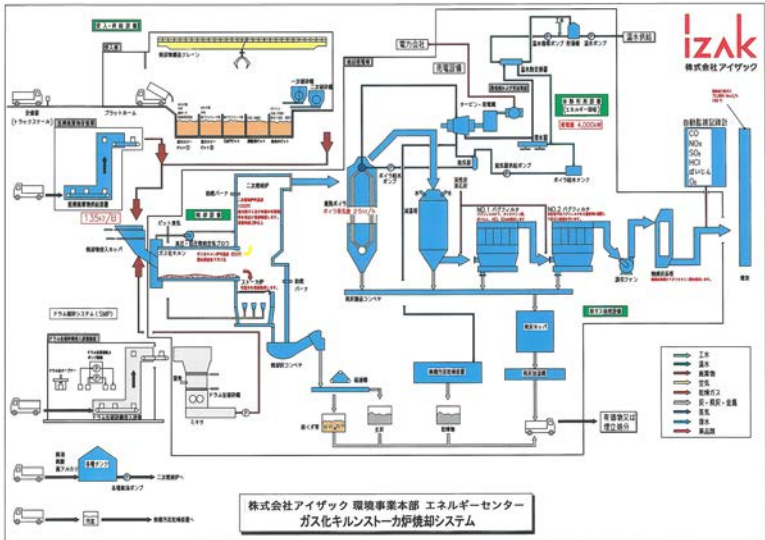
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	動植物性残さ(一廃の生ごみ・厨芥類を含む)	非公開	非公開	トン
	汚泥	非公開	非公開	トン
	廃油	非公開	非公開	トン
	廃酸	非公開	非公開	トン
	廃アルカリ	-	非公開	トン
受入可能量	メタン発酵に適する産廃・一廃	-	非公開	トン／日
販売実績量の推移	燃料ガス	非公開	非公開	千Nm ³
主な調達先	食品製造業者、自治体、等			
主な供給先	グループ企業			

12.4 株式会社アイザック

12.4.1 事業者情報

名 称	株式会社アイザック		
本社住所	〒937－0816	富山県魚津市大海寺野 1181	
資本金、出資金	99,000 千円		
従業員数	405 人(内エネルギーセンター 33 人)		
設立年月日	昭和 38 年 7 月 2 日		
URL	http://www.izak.co.jp		
事業概要	・本事業は、「廃棄物エネルギーリサイクル事業」として抑制燃焼方式によって廃棄物を焼却処理し、発生するエネルギーを回収して発電し電力供給、さらに発電で使用した低温排熱も温水として他事業所に供給しています。本施設は環境配慮型の焼却施設であり、削減される CO2 は約 16,000 トン/年で環境省の「廃棄物処理施設における温暖化対策事業」として補助金を戴いています。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	環境事業本部 エネルギーセンター 業務課	
	担当者名	浜野 昭弘	
	連絡先	電話番号	076-471-5100
		FAX	076-471-5511
		E メールアドレス	a-hamano@izak.co.jp

12.4.2 技術情報

キーワード	廃棄物処理、再資源化			
技術名称	抑制燃焼式 キルン・ストーカー炉(ロータリーキルン・火格子)			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
目的・用途	富山市エコタウン構想に基づき、本施設はこれまで処理困難とされてきた産業廃棄物を安全かつ安定的な焼却処理になっていることと同時に高効率発電を行っている。			
特長	廃棄物エネルギーリサイクル事業として、抑制燃焼方式によって焼却処理し、発生するエネルギーを熱回収して発電し自社の電力供給、余剰電力は売電、蒸気を利用した汚泥乾燥、さらに発電で使用した後の低温排熱温水として近隣の企業に供給しています。またガス化焼却炉によって完全燃焼して、ダイオキシン、CO、二酸化窒素の排出を抑制、環境負荷の軽減化を図っています。			
処理フロー図	 株式会社アイザック 環境事業本部 エネルギーセンター ガス化キルン・ストーカー炉焼却システム			
廃棄物の種類	産廃	燃え殻	受入条件、形状	特になし
	産廃	汚泥	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃油	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃酸	受入条件、形状	重金属含有以外
	産廃	廃アルカリ	受入条件、形状	重金属含有以外
	一廃・産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	特になし
	産廃	その他(金属くず、木くず、動植物性残渣、建築廃材)	受入条件、形状	当社破砕機で破砕可能な物
	産廃	感染性産業廃棄物	受入条件、形状	600mm × 400mm × 400mm 以内の医療系ボックス

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・発電した電気の自社利用分にて J-VER 制度に登録。J-VER クレジットの創出を行います。 ・本施設は、環境配慮型の焼却施設であり、削減されるCO2は年間で16,000トン/年となり、富山県の STOP 温暖化事業の中の新エネルギーにて削減目標の約 30%に相当します。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学受入者数 626 人 (平成 24 年 EC 実績)

12.4.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥(特管含む)	0	9,678	t
	廃油(特管含む)	0	14,357	t
	廃酸、廃アルカリ(特管含む)	0	8,204	t
	廃プラ(産廃)、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	0	4,038	t
	燃え殻、ばいじん(特管含む)	0	38	t
	廃プラスチック(一般)	0	3,915	t
	感染性産業廃棄物	0	785	t
受入可能量	汚泥(特管含む)	－	10,034	t
	廃油(特管含む)	－	14,886	t
	廃酸、廃アルカリ(特管含む)	－	8,506	t
	廃プラ(産廃)、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	－	4,187	t
	燃え殻、ばいじん(特管含む)	－	40	t
	廃プラスチック(一般)	－	4,059	t
	感染性産業廃棄物	－	813	t
主な調達先	非公開			

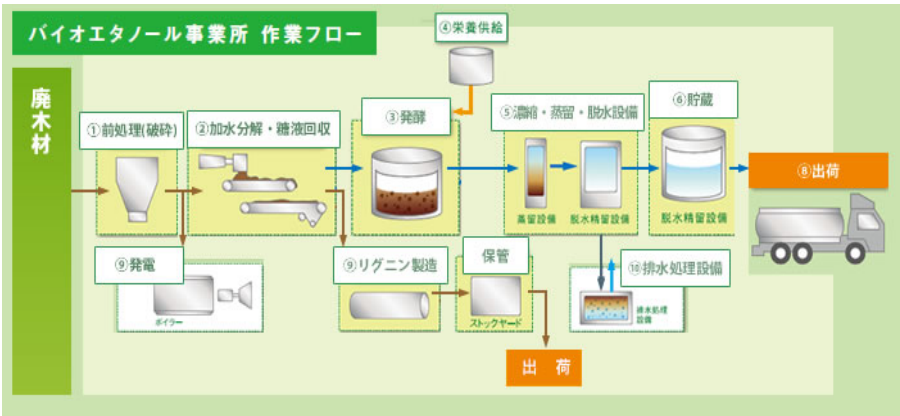
主な供給先	北陸電力株式会社(売電)
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	非公開

14.2 株式会社 DINS 堺バイオエタノール事業所

14.2.1 事業者情報

名 称	株式会社 DINS 堺バイオエタノール事業所			
本社住所	〒592－8331	大阪府堺市西区築港新町四丁 2 番 3 号		
資本金、出資金	96,000 千円			
従業員数	25 人			
設立年月日	平成 16 年 3 月 25 日			
URL	http://www.dinsgr.co.jp/dins_sakai/			
事業概要	建設廃木材を主体とする廃棄物を受け入れ、有用なバイオマス資源としてカーボンニュートラルなバイオエタノールを製造する資源循環型のリサイクルプラントです。また、エタノール発酵に不向きな廃木材についてはチップ化、焼却を行い、焼却過程で蒸気を発生させ、バイオエタノール製造にかかる熱源としての利用及び蒸気タービン発電機で発電に利用しています。発電された電力については自家供給を行い、余剰電力については再生可能エネルギーとして固定価格で売電しています。また、エタノール製造工程で発生する残渣については調質し、燃料用リグニンとして売却しています。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 DINS 堺 バイオエタノール事業所		
	担当者名	徳原 一浩		
	連絡先	電話番号	072-243-3071	
		FAX	072-243-3072	
		E メールアドレス	tokuhara8141@dinsgr.co.jp	

14.2.2 技術情報(1)

キーワード	バイオエタノール、発酵、E3、KO11			
技術名称	加水分解、アルコール発酵			
技術の分類	その他(エタノール発酵)			
目的・用途	温室効果ガス削減・レギュラーガソリン添加用バイオエタノール			
特長	カーボンニュートラルなバイオエタノール使用による温室効果ガス削減			
設備、製品等の写真、イメージ	 設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図	 バイオエタノール事業所 作業フロー			
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃酸	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	廃アルカリ	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	廃油	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	植物性残さ	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
供給資源・製品	バイオエタノール		形状	タンクローリー積込
	燃料用リグニン		形状	固形粉体

アピールポイント	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	化石燃料代替バイオエタノールによる二酸化炭素排出量の削減及び再生可能なエネルギー導入による循環型社会の形成 ガソリンに混入時バイオマス証明による揮発油税の減免
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター事業(環境省) 再生可能エネルギー発電設備の認定(経済産業省) 熱回収施設設置者認定(堺市長) 大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク登録 堺臨海エコファクトリーズ協議会としても見学者来場多数あり

14.2.3 技術情報(2)

キーワード	再生可能エネルギー			
技術名称	再生可能エネルギー発電設備の認定			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
目的・用途	バイオマス発電設備(建設資材廃棄物燃焼)による再生可能エネルギー認定			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状	
供給資源・製品	電力		形状	

14.2.4 技術情報(3)

キーワード	熱回収			
技術名称	熱回収施設設置者認定			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
特長	熱回収率 18.2%			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状	
供給資源・製品	電力		形状	
	燃料用リグニン		形状	

14.2.5 実績情報

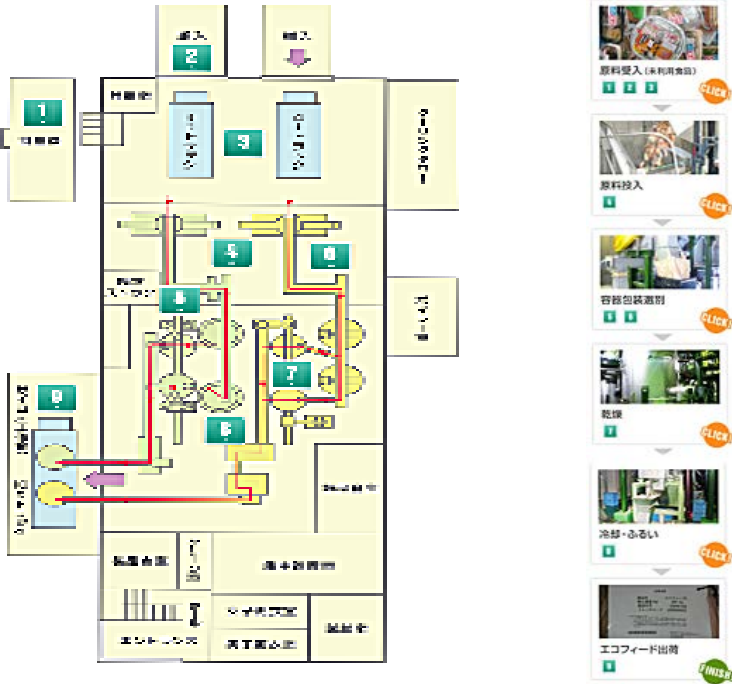
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	木くず	30,057	24,948	t
	植物性残渣	-	11	t
	廃酸	-	121	t
	廃アルカリ	-	37	t
	廃油	-	0	t
受入可能量	木くず	-	158	t/日
	植物性残渣	-	5	t/日
	廃酸	-	434	m³/日
	廃アルカリ	-		
	廃油	-		
販売実績量の推移	バイオエタノール	非公開	-	t
	燃料量リグニン	非公開	非公開	t
主な調達先	産業廃棄物処理業			
主な供給先	アルコール製造・販売・使用許可事業者 発電所			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	平成 20 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 21 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 22 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 23 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 24 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	リグニン調質設備 4t散水車 ロータリーエンジン発電設備 投入用バックホー			
その他実績	産業廃棄物処分業許可・一般廃棄物処分業許可 アルコール製造事業・使用許可 計量証明事業登録 再生可能エネルギー発電設備認定 熱回収施設設置者認定 エコアクション 21 認定			

15.1 エコフィード循環事業協同組合

15.1.1 事業者情報

名 称	エコフィード循環事業協同組合		
本社住所	〒675－2113	兵庫県加西市網引町 2001-54	
資本金、出資金	600 万円		
従業員数	10 人		
設立年月日	平成 19 年		
URL	http://www.eco-feed.org/index.html		
事業概要	食品残さ(店頭販売期限切れ)からエコフィード(リサイクル飼料)の製造		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	事務局	
	担当者名	村田	
	連絡先	電話番号	0790-49-9880
		FAX	0790-49-9888
		E メールアドレス	m.murata@eco-feed.org

15.1.2 技術情報

キーワード	リサイクル 飼料 エコフィード 食品残さ 余剰食品 トレサビリティ 未利用			
技術名称	・エコフィード製造技術(乾燥技術) ・リサイクル飼料の安全管理技術			
技術の分類	・未利用食品の飼料化 ・エコフィードループシステム			
目的・用途	・リサイクル飼料の安全確保 ・霜降り豚肉作出用飼料			
特長	・おいしく安全で健康にもよい豚肉肥育飼料			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃酸・廃アルカリ 飲料等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	産廃	汚泥 ヨーグルト、レトル品等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	産廃	動植物性残さ 未利用食品等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	一廃	余剰食品 調理残さ	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの

供給資源・製品	エコフィード P		形状	粉状
	エコフィード S		形状	粉状
	エコフィード PM		形状	粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	市町村などでの焼却場や灰の埋立などの環境負荷コスト低減 例 神戸市での処理コスト 13 円/kg から算出すると 3664 万円の削減につながります。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	飼料マイルージの低減 二酸化炭素排出を 1 割程度に抑えることができる アメリカ産トウモロコシ、大豆を原料とする配合飼料1tの CO2 排出量 148,571kg 地産地消未利用食品を原料とする配合飼料1tの CO2 排出量は 17,539kg	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成 20 年度 食品リサイクル推進環境大臣賞受賞 1200 人の施設見学受入を実施(平成 25 年 10 月まで)	

15.1.3 実績情報

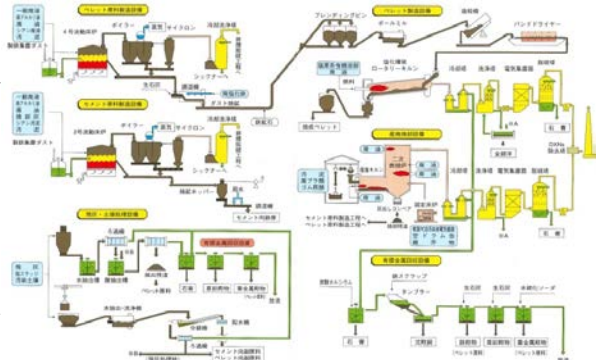
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ロスパン	707	1,600	t
	食品残さ	61	1,966	t
受入可能量	ロスパン	-	20	t
	食品残さ	-	20	t
主な調達先	食品工場 デリカ工場 飲料工場 麺・パン・お菓子・アイスクリーム製造／加工工場			
主な供給先	養豚農家 飼料会社			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	エコフィード循環システム 食品バイオマス飼料化システム エコフィード P・S 開発			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	平成 20 年 7 億 31 百万円			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 19 年度 農林水産省農業・食品産業競争力強化支援事業 平成 20 年 新事業活動促進支援補助金(新連携支援事業) 平成 21 年度 ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発等支援事業)			

22.17 光和精鉱株式会社

22.17.1 事業者情報

名 称	光和精鉱株式会社		
本社住所	〒804－0002	福岡県北九州市戸畑区大字中原 46-93	
資本金、出資金	10 億円		
従業員数	150 人		
設立年月日	1961/2/10		
URL	http://www.kowa-seiko.co.jp/		
事業概要	○製鉄ダストのリサイクル ～ 新日鐵住金(株)八幡製鐵所で発生する製鉄ダストを処理(=「塩化揮発による不純物元素の除去」と「成型・焼成」)し、製鉄ペレットとして再資源化 ○各種廃棄物の処理 ～ 上記の処理プロセスの中で、各種の廃棄物を処理(=「廃油による燃料油の代替 等の廃棄物による原燃料の代替」や「含塩素廃棄物を塩化揮発の塩素源として活用 等の補助材料化」により、廃棄物を有効活用しつつ処理)を実施し、「要埋め立て残渣を生じないゼロエミッション」の廃棄物処理を実現。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	総務部	
	担当者名	戸塚 司	
	連絡先	電話番号	093-872-2100
		FAX	093-884-0666
		E メールアドレス	totsuka@kowa-seiko.co.hjp

22.17.2 技術情報(3)

キーワード	廃棄物, 焼却, 再資源化, ゼロエミッション			
技術名称	産業廃棄物の処理			
技術の分類	有害廃棄物処理			
目的・用途	各種の産業廃棄物の処理			
特長	ゼロエミッション(＝要埋立て残渣無し), 高塩素含有物等の難処理物の処理にも対応			
設備等の写真	 産廃炉			
処理フロー図	産廃炉を中核に、処理を実施。項目名に青枠かけしているのが廃棄物で、その性格に応じた工程にて処理を実施する。 			
廃棄物の種類	一廃・産廃	汚泥, ASR, 燃え殻, 飛灰	受入条件、形状	
	産廃	廃油, 廃アルカリ, 廃酸	受入条件、形状	
	産廃	その他の各種廃棄物	受入条件、形状	
供給資源・製品	水酸化亜鉛		形状	粉状
	銅滓		形状	粉状
	石膏		形状	粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	塩化揮発を中核とした処理工程で処理するため、難処理物(～高ハロゲン物を含めた多様な難処理物)に対応でき、且つ、ゼロエミッションでその処理が出来る。	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	PCB汚染物の処理
----------	---------------	------------------------	-----------

22.17.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	32,246	27,620	Ton
	廃油	39,452	30,467	Ton
	廃酸	40,206	35,227	Ton
	廃アルカリ	60,262	54,978	Ton
	その他の各種廃棄物	28,050	20,737	Ton
販売実績量の推移	製鉄ペレット	116,827	116,975	Ton(Dry)
	セメント焼鉱	33,167	12,051	Ton(Dry)
	水酸化亜鉛	3,852	3,376	Ton(Dry)
	銅滓・金銀滓	975	591	Ton(Dry)
	その他(石膏 等)			Ton(Dry)
主な調達先	主要な原燃料の調達先は新日鐵住金(株)八幡製鐵所〔製鉄ダスト, LD G〕。副資材(排水処理の石灰・炭酸カルシウム など)については、省略。			
主な供給先	当社の業である製鉄ダストのリサイクル, 及び, 廃棄物(産廃, 一廃)の処理を通じて生産・回収した製鉄ペレット, 蒸気, セメント焼鉱, 水酸化亜鉛, 銅滓, 石膏 等については、製鉄業, 非鉄製錬業, セメントへ向けて出荷・販売しています。			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	製鉄ダストの処理について長年の研究実績があります。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	年間約 10 億円程度の設備投資を行っています。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	当社事業としての海外展開は実施していません。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	グリーンニューディール事業の補助金を受けております。			